

東京江東ロータリークラブ

2025～2026年度 テーマ

よいことのために手を取りあおう

RI 会長 フランチェスコ・アレツォ
地区ガバナー 中川 雅雄

今日の卓話

全日本教職員連盟（全日教連）

委員長 **渡辺陽平氏**

ROTARY Life

～継承～

クラブ会長 末次茂雄

次回例会案内

第2回クラブフォーラム

米山奨学委員会

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp http://www.koto-rotary.jp

例会
報告

9/9 会員数 18 名中 13 名
出席率 76.47%
【訂正出席率】8/26 70.58%



会長・幹事報告



- 10日（火）東3クラブカップゴルフ大会 水街道ゴルフクラブ ☆末次会長・大木会長エレクト・伊藤三千男会員・鈴木会員・野村会員・堀会員
- 16日（火）プレ会長エレクトラーニングセミナー【ZOOM】大木会長エレクト
- 16日（火）休会
- 23日（火）休会



<委員会報告・その他>

【回覧】：ファミリーハウス通信（秋）【配布物】：週報 NO.9
次回例会は、10月14日（火）通常例会（昼）となっております。欠席されます方は、事務局までお知らせください。

ニコニコボックス



東京ベイ RC・井上慶亮幹事：本日の例会楽しみにしていました。よろしくお願い致します。
東京ベイ RC・石渡秀雄君：本日の合同例会楽しみましょう！！10月7日（火）の進水式もよろしくお願い致します。
末次会長：平野様、本日は卓話楽しみにしています。
熊川幹事：卓話楽しみにしています。
伊藤（三）君：今日はベイ RC との合同例会です。楽しみに待っておりました。
鈴木君：合同例会です、楽しく過ごしましょう。
鯉淵君：平野様、本日はよろしくお願い致します。
小嶋君：平野雨龍さん、宜しくお願い致します。
小野君：平野様、本日の卓話楽しみにしております。ベイ RC の皆様、本日はよろしくお願い致します。
伊藤（海）君：平野さん、楽しみにしております。
堀君：ベイの皆様ようこそ。よろしくお願い致します。
大屋君：平野雨龍さん、銀座の交差点の演説以来今日を楽しみにしておりました。
野村君：合同例会楽しみです。どうぞ宜しくお願いします。

合計 62,000 円
累計 461,000 円

2025年9月のロータリーレート【1ドル147円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5683)5683 ●例会日 / 毎週火曜日 12時30分～13時30分
●事務局 / 東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト 21 東京内 TEL : 03(5632)3777 FAX : 03(5632)3737



中国の人口侵略の脅威と日本の取るべき対応 平野雨龍氏



迫り来る「人口侵略」という現実

中国は世界の人口大国であり、その巨大な人口は経済成長の原動力であると同時に、外交・安全保障においても大きな意味を持っています。

歴史を振り返れば、人口の移動は単なる経済活動にとどまらず、領土拡張や文化浸透の手段として利用されてきました。

今日の中国においても同様で、「一帯一路」構想や海外進出政策を通じて、経済のみならず人口の影響力を世界各地に拡大しています。

アフリカや東南アジアでは現地社会への浸透が進み、経済的支配と同時に人口による覇権拡大が確認されているのです。

日本で進む静かな浸透

この動きは日本にとっても決して無縁ではありません。日本国内の中国人は年々増加し、都市部では中国語が日常的に飛び交い、不動産や土地の中国資本による所有が急速に進んでいます。

さらに人口が増えれば、やがて組織化され、世論形成や政治活動に動員される危険があります。

SNS やインターネットを利用した情報操作、フェイクニュースの拡散、日本国内の世論分断、言論萎縮——これらは軍事ではなく情報と心理を武器とした浸透戦術です。中国資本が企業やメディアに影響を及ぼすことで、私たちが気づかぬうちに日本の基盤が揺さぶられています。

民族と文化を守るために

国家は善意だけでは成り立ちません。現実の安全保障上のリスクを冷静に直視する必要があります。

中国による人口侵略が進めば、日本人が少数派に追い込まれ、日本語や日本文化は相対化され、やがて「日本」という国の存在そのものが弱体化していく危険があります。

いま求められているのは、「多様性」「共生」という言葉に安易に流されることなく、日本人としての文化と

主権を守る覚悟です。

日本が取るべき具体策

私は日本が取るべき対策として、以下の5つを提案します。

1. 入国規制の強化

労働力不足を理由にした安易な受け入れは、人口浸透を招きます。治安や国家安全保障の観点から、入国審査を厳格化し、戦略的に人の流れを管理すべきです。

2. 帰化制度の厳格化

日本国籍は主権に直結します。忠誠心や文化的同化を十分に確認し、帰化を安易に認めない制度設計が必要です。

3. 土地取引の規制

水源地や国防拠点など戦略的地域における外国資本の土地取得を厳格に制限し、透明性を確保しなければなりません。

4. 経営管理ビザの見直し

一部外国人が経営管理ビザを利用し、不透明な資金流入や浸透工作を行う事例があります。日本経済に真に貢献する事業かどうかを厳格に審査する必要があります。

5. スパイ防止法の制定

日本は先進国の中でスパイ行為を直接処罰できない稀有な国です。国家機密や先端技術の流出を防ぐため、法整備が急務です。

日本人一人ひとりの覚悟を

制度改革と同時に、国民一人ひとりの自覚が不可欠です。外国人を全面的に排除する必要はありませんが、中国による人口侵略と浸透工作は、独立国家として看過できない最優先課題です。

外国人労働力に依存するのではなく、日本人自身の人口基盤を守り、少子化を克服することこそ本質的な解決策です。

結びに

中国の人口侵略は、日本の未来を左右する重大な現実です。法制度を整え、人口政策を立て直し、そして私たち自身が自覚を持つことで、初めて独立と文化を次世代へと継承できます。

私は、この危機を「日本の覚醒の契機」と捉えています。皆さまと共に、日本人の誇りを守り抜き、未来の世代に胸を張って渡せる日本を築いていきたいと願っています。

そのためには、政治家や一部の有志だけでなく、国民一人ひとりが「この国を守る主体」とであるという強い自覚を持つことが不可欠です。家庭での教育、地域でのつながり、職場での責任感——そのすべてが国家を形づくる土台となります。

「日本人であること」に誇りを持ち、その誇りを次代に引き継ぐこと。

それこそが、私たちが歴史に対して果たすべき責務であり、日本という国を未来に残す唯一の道だと確信しています。